

走行予定日：令和2年5月10日(日)

※番号は五十音順。走行市町は令和2年3月頃公表予定。走行スロットは4月頃(走行日の2～3週間前)公表予定。

番号	氏名	年齢 (令和元年 12月17日 現在)	住所	自己PR・応募動機・推薦理由(抜粋、要約)
1	いのうえ あゆ 井上 愛結	15	唐津市	唐津東中学生、バスケットボール部。 佐賀県U15国体強化選手。
2	うちだ しのぶ 内田 忍	34	佐賀市	イチゴをメインに米・麦・大豆の農家。 JA女性組織の若手世代で構成する「フレッシュミズ東与賀」部長。若手リーダーとして地域活性化に取り組む。
3	うちだ たくま 内田 琢馬	17	伊万里市	有田工業高校生、陸上部。 車いすマラソンランナー。
4	おおば こうき 大庭 弘毅	67	武雄市	武雄中学校・元校長。学校教育を主に、生涯スポーツや競技スポーツの振興にも努める。 退職後は、NPOスチューデント・サポート・フェイス理事。「たけお若者サポートステーション」責任者として、若者及び若年無業者の就職・進学など自立に向けた支援に携わる。
5	かどわき めぐみ 門脇 恵	34	佐賀市	林業女子会@さが会長。 東京から佐賀市富士町に移住し、地域おこし協力隊として地域の活性化に尽力。林業や山で活動する楽しさ面白さを共有する活動をしている。 ローカルメディア「佐賀のお山の100のしごと」編集長として、山の魅力を発信している。
6	カノエ ラナ	24	—	佐賀県唐津市出身。現在は上京し、東京を中心に音楽活動するシンガーソングライター。 地元佐賀県を誇りに思い、作詞・作曲し歌うことで、佐賀の魅力を全国に発信。
7	くにしげ あきな 国重 亜樹奈	29	玄海町	福岡から玄海町に移住し、地域おこし協力隊として地域の活性化に尽力。 「浜野浦の棚田」の保全活動、イベント企画、PRを行う。
8	くまがい しゅうへい 熊谷 周平	30	鹿島市	地域貢献として消防団に所属。 地元の小学生の剣道指導を行う。 地域のお祭りでは、伝承芸能(獅子舞や鐘浮立)に取り組む。
9	さかぐち りえこ 坂口 理恵子	53	太良町	佐賀県有明海漁協大浦支所女性部 部長。 竹崎コハダ女子会の中心メンバーとして、コハダ食堂を期間限定で営業し、積極的に地元産品の普及活動に取り組む。
10	そえじま さとし 副島 哲	41	嬉野市	視覚障害を持ちながらも、バリアフリーツアーセンター理事や嬉野ゆのまち音楽彩You音ボランティア活動を積極的に行う。
11	たぐち さえか 田口 沙瑛夏	17	佐賀市	龍谷高校生。さが総文生徒実行委員会のパレード部会に所属し、運営のみならず、演出など様々なアイデアで大会を盛り上げ、参加者のおもてなしを行った。
12	たじま かおる 田島 芳	43	白石町	四国から白石町に移住。れんこんの海外進出(世界普及)を目指すれんこん農家。
13	ないとう ゆうすけ 内藤 雄輔	32	小城市	佐賀災害支援プラットフォーム 副委員長。東日本大震災や熊本震災などで、復旧支援、自立支援を各団体や企業、行政と連携して活動。今年の佐賀豪雨においても幹部として、復興支援を行う。
14	なかむら とよこ 中村 豊子	69	武雄市	武雄町区長会会長。「武雄温泉春まつり」実行委員長。 ボランティア活動として、子供達の登校時の交通誘導を7年間行っている。「なかよし川良っ子」を立ち上げ子供の居場所づくりに取り組む。 地域の伝承芸能(浮立・川良荒踊り)の復活、継承にも尽力。
15	ひでしま ひろし 秀島 寛	60	太良町	消防団長として町の安心・安全に長年にわたり尽力。 太良町商工会会長として町内商工業の発展にも貢献した。
16	まつもと まり 松元 麻理	57	伊万里市	ジュニアバレーボール指導者として、競技の普及やレベルアップに尽力。昨年、伊万里男子ジュニアチームを全日本小学生バレーボール大会優勝に導いた。 伊万里市民賞、佐賀県スポーツ功労賞を受賞。
17	みやざき みつひろ 宮崎 充宏	49	佐賀市	佐賀県自閉症協会主催の「佐賀県自閉症児・者療育キャンプ」のボランティアを中心的な立場で、26年間継続。
18	やまぐち ひろみ 山口 ひろみ	48	唐津市	安心して子育てができる街づくりを目指して、NPO法人唐津市子育て支援情報センター長を設立当初から15年間務めている。 地域の乳幼児の親子と中学生が交流する中学校子育てサロンを7年前から開始。
19	やまのうえ あすか 山之上 飛鳥	17	有田町	武雄高校生、第8代目高校生平和大使。「核兵器の廃絶と平和な世界の実現」を訴え、毎年国連欧州本部へ届ける「高校生1万人署名」を集めるため、毎月街頭で署名活動を行っている。
20	ラマ カンチャ	37	唐津市	農業経営をするために唐津市に移住。雇用型農業経営でフルーツトマトなどを栽培。県国際交流協会の災害時防災マニュアル作成委員を務めるなど様々な地域活動にも参加。 九州・沖縄地区青年農業者会議で「どこでも誰でもできる農業」をテーマに最優秀賞を受賞。来年は、全国大会に出場する。

走行予定日:令和2年5月11日(月)

※番号は五十音順。走行市町は令和2年3月頃公表予定。走行スロットは4月頃(走行日の2〜3週間前)公表予定。

番号	氏名	年齢 (令和元年 12月17日 現在)	住所	自己PR・応募動機・推薦理由(抜粋、要約)
1	いのうえ 井上 華花	20	佐賀市	県教員を目指す佐賀大学生。 外国にルーツを持つ子どもを支援するサークルや、ひとり親家庭の子どもの学習支援ボランティアで活動。
2	いまむら 今村 一郎	51	鳥栖市	医療法人社団 如水会 今村病院 理事長。 「SAGAスポーツピラミッド(SSP)構想」のSSPアスリートジョブサポ事業により、今年度から2名のアスリートを雇用し、当事業を活用した初の事業者。SSP基金ゴールドパートナーになるなど、SSP構想の推進に積極的に取り組む。
3	えだよし 枝吉 まきこ 真喜子	71	佐賀市	佐賀商工会議所女性会会長として地域の活性化に取り組む。出会い応援パーティーなど積極的な活動を展開。
4	かきつか 柿塚 しんや 晋也	40	江北町	佐賀県トライアスロン協会副会長として、2023年国民スポーツ大会に向け、選手強化に尽力。
5	かわだ 川田 たかこ 孝子	50	佐賀市	学校給食・食育に携わる栄養教諭。「オリ・バラ給食」を立案し、世界の料理を学校給食で提供。食育だより、試食会、講演会、ラジオ、テレビ、全国大会での発表等、「食の大切さ」「健康」を伝え、食育の推進に尽力。
6	きたむら 北村 おしひろ 好広	43	吉野ヶ里町	醤油、みその製造販売業を営む。商工会青年部長として町の活性化に取り組んだ。部長退任後の現在も、地元で子供達とみそづくりなど食育と地域活性化に取り組む。
7	こが 古賀 たいひこ 稔彦	52	—	みやき町出身の柔道家。1992年バルセロナオリンピック柔道男子71kg級金メダリスト。県内で柔道教室を開くなど、佐賀県の柔道競技の向上に貢献。2019年からは、「SAGAスポーツピラミッド(SSP)構想」アンバサダーに就任。
8	こじま 小島 かずのり 一博	12	佐賀市	佐賀大学教育学部附属小学生、児童会長(生徒会長)。空手(組手)で県大会2年連続優勝。
9	しまづ 嶋津 まゆみ 真由美	61	佐賀市	佐賀市観光ボランティアガイドを16年間務めている。 佐賀県防災士会、佐賀県栄養士会、校区防災士会などで数々の活動を行う。 2016年から2年間JICAシニア海外ボランティアではパラオ共和国において栄養士として現地の学校給食の向上に貢献。
10	つぎ 鶴崎 よいちろう 興市郎	71	佐賀市	前回の東京オリンピック聖火ランナー。 佐賀県聴覚障害者協会 前体育部長として協会員のスポーツ参加への機運高める。 手話サークルにも積極的に参加し、ろうあ者として当事者ならではの手話の普及を行う。 社会貢献活動としてJR佐賀駅駐輪場整理員を務める。
11	てらだ 寺田 やすお 恭夫	74	みやき町	住民の交流・見守り強化・介護予防に「ふれあいサロン」を立ち上げ。その後もサロンを支援するボランティアグループ(ハッスル隊、ふまねっとサポーター、そば打ちおやじの会)の一員として尽力。 佐賀みやきひよつとこ会を結成し、バルーン大会やさが桜マラソンで活動。「こどもひよつとこ夏祭り」を主催。
12	とよだ 豊田 ろうへい 陽平	34	—	プロサッカー選手。サガン鳥栖のJ1昇格にも貢献し、現在もトップ選手として活躍。小学校訪問や地域のサッカー教室など、地域貢献活動にも率先して参加。
13	なかむら 中村 たいが 太河	13	多久市	多久市立東原庫舎西深校 中学生。小学校3年生から始めたスポーツクライミングを熱心に取り組む。
14	なかむら 中村 ゆみこ 由美子	54	佐賀市	平成16年から、双子・三つ子のサークル「グリーンピース」で活動。令和元年に「さが多胎ネット」を発足。多胎家族への支援を行う。
15	ニューエン ステイブン	24	佐賀市	ALT。子供たちに英語の絵本の読み聞かせのボランティアを行う。日英会話交流クラブを立ちあげる。
16	はらまき 原 楓 かずひこ 和彦	74	上峰町	前回の東京オリンピック聖火ランナー。 上峰町区長会会長として地域の安全安心や課題解決に向けて尽力。
17	ひらまつ 平松 かつき 克輝	72	小城市	医療法人ひらまつ病院・社会福祉法人清水福祉会理事長として36年にわたり地域医療の発展・地域福祉の充実に尽力。 アスリートの雇用に積極的であり、特に陸上競技においては、本県で初めてニューイヤー駅伝に出演。現在、小城市体育協会会長も務めており、県内一周駅伝小城市チームの7連覇達成にも貢献。SSP基金オフィシャルパートナーとして地域スポーツの発展を支援。
18	みやち 宮地 まゆ 真由	19	神埼市	佐賀女子短大生。学生ボランティア部sun-kissedに所属し、災害ボランティアや棚田保全ボランティアなど活動。佐賀県地域防災リーダー養成講座を受講後、防災士の試験にチャレンジし、地域貢献のための学びを積極的に行う。
19	むらおか 村岡 ひろし 洋	66	小城市	佐賀県手をつなぐ育成会 会長。 障害者の自立及び社会参加推進、障害者に対する理解の普及に取り組む。
20	もり 森 いさむ 勇	73	大町町	前回の東京オリンピック聖火ランナー。 地域の農業の持続的な発展を願い、農家仲間と農業法人化を成し遂げ、8月まで代表を務めた。
21	もり 森 やすえ 靖恵	60	基山町	地域の子育て環境を良くするために、育児サークル「どんぐりクラブ」立ちあげ。 基山町ゴルフ代表で県大会に9年連続出場するなど、スポーツを通じて地域との関りを深めている。
22	もりた 森田 ひさき 久代	59	鳥栖市	走り高跳びでオリンピックに出場した経験がある。 総合型スポーツレクリエーションクラブ「フィッシュ」サブクラブマネージャーを10年務めている。 大人の健康づくり、子ども達にはスポーツの楽しさを知ってもらえる教室とサークルのお手伝いなど生涯スポーツの普及に尽力。
23	やまもと 山本 ちえこ 千恵子	55	小城市	筋萎縮性側索硬化症(ALS)を患いながらも、佐賀県難病相談支援センターの相談支援員として、就労支援や難病普及啓発に取り組む。
24	よしおか 吉岡 とくじん 徳仁	52	—	世界的なデザイナー、アーティスト(佐賀市出身)。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の「聖火リレー」のデザインを担当。